

YA 人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ 筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは「ちくまプリマー」から読んでみましょう。

『「自分らしさ」と日本語』 中村桃子/著 Y801.1/ナ

『みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT』
遠藤まめた/著 Y367.9/エ

『リスク心理学』 中谷内一也/著 Y361.4/ナ

『生きのびるための流域思考』 岸由二/著 Y452.9/ニ

「なるには BOOKS」シリーズ ペリかん社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手にとってみてください。

『アプリケーションエンジニアになるには』
小杉真紀/著 吉田真奈/著 山田幸彦/著 Y007.3/コ

『農学部』 佐藤成美/著 Y376.8/サ

YA ボランティア 募集中！！

興味のある方は
中央図書館まで
お問合せください



YAブックリスト第46号

令和3年10月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台 4-6-18

電話：042-378-7111 FAX：042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



VOL.46

食べる

あなたの好きな食べ物は何か？

それはどこから来た食材を使い、誰が作った料理でしょうか。

食べることは生きること。改めて考えてみませんか？



『給食アンサンブル』

如月かずさ/著 光村図書出版 Y913.6/キ

お嬢様学校から公立中学に転入してきた美貴。ここの騒がしい給食が嫌い、この学校になじみたくない。そんな気持ちを秘密にしながら、新しい友達と過ごすもある時それがバレてしまいます。

同じ給食を囲む中学生たちが、それぞれの視点から自分の悩みに向き合う、給食でつながる優しいストーリー。

『妖怪アパートの幽雅な食卓』

香月日輪/著 講談社 Y913.6/コ

『妖怪アパートの幽雅な日常』シリーズお馴染みの妖怪、るり子さんが作る料理本。本編で登場する料理が彼女の日記風につづられていて、作りたくなる、食べたくなるなる！『妖怪アパートの幽雅な日常』シリーズを読んだことがある方もない方も、共に楽しめますよ。

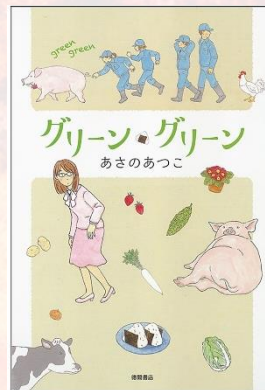
この食材はどこから？

『グリーン・グリーン』

あさのあつこ/著 徳間書店 Y913.6/A

失恋した時に食べたお握りが美味しかったから。

そんな理由で田舎の農林高校に赴任した新米教師、
みどりかわみどり 翠川真緑。グリーン・グリーンとあだ名がついた彼女
が関わる、生徒と教師と自然と豚（！）と織りなす青春農林生活。



『宇宙マグロのすしを食べる』

山本俊政/著 旬報社 Y666/Y

海水魚と淡水魚が同時に生きられる「好適環境水」。海から遠い場所でも海水魚が養殖でき、病気になりにくく、成長も早いという魔法の水の開発について書かれています。魚を獲るだけでなく増やすことを考えてきた結果、二酸化炭素の排出量を減らしたり、野菜と養殖の同時生産や地熱利用等、未来のための研究がなされています。

『食べるってどんなこと？』 古沢広祐/著 平凡社 Y498.5/F

『いのちの食べかた』 森達也/著 理論社 Y648.2/M

給食

『給食のおばさん、ブータンへ行く！』

平澤さえ子/著 飛鳥新社 374.9/H

給食のおばさん歴 30 年の著者は、給食改善をするためにブータンの南端にある田舎町ゲレフに行きます。切れない包丁。オーブンと言われたものは電子レンジ。生鮮食品は週末の市場でしか買えず、料理はどれも唐辛子だらけ。そんな環境で子どもたちに「クッキングクラス」を始めることになりました。

平澤さんの奮闘とブータンの人々との交流をぜひ読んでみてください。

『おいしい給食』紙吹みつ葉/著 中央公論新社 V913.6/K

カフェ、食堂、料理人

『谷中びんづめカフェ竹善』 竹岡葉月/著 集英社 Y913.6/T

大学進学を機に上京し、谷中で一人暮らしをする紬。実家から届く野菜の山に困り果て、処分しようとしたゴミ置き場で「びんづめカフェ」を営むセドリックに出会います。食べても食べてもなくならなかった大量の玉ネギがジャムに変身し、その美味しさに感動。保存食にすれば野菜を捨てずにすむことを知ります。人と関わるのが苦手な紬は、食を通してどう変わっていくのでしょうか。



『恋とポテトと夏休み』 神戸遥真/著 講談社 Y913.6/K

『カフェ・デ・キリコ』 佐藤まどか/著 講談社 Y913.6/S

『南極ではたらく かあちゃん、調理隊員になる』

渡貫淳子/著 平凡社 402.9/W

作ってみよう

『キャベツ』 石井睦美/著 講談社 913.6/I

中学の時、洋は父を亡くしてから母と妹のために食事を作るようになります。時がたち、大学生となった洋には料理作りも当たり前の日常。そんなある日、高校生の妹が友人を連れてきます。

料理も恋も、そのはじまりにキャベツあり。

『これが正解！ひとり暮らしごはんスタートブック』

検見崎聡美/著 主婦の友社/編 主婦の友社 Y596/K

そろえておきたい調理道具や調味料、食材の切り方や保存方法など、初心者向けに料理の基本がやさしく書かれています。簡単に作れるレシピもたくさん載っているので、料理してみたいと思った時にすぐ始められる 1 冊です。

『まんがキッチン』 福田里香/著 Girlie/編 アスペクト Y596.6/F

